キャラクター名
奉日本　鼓　（たかもと　つづみ）

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ブラックドッグ	ワークス	探偵	カヴァー	
オプショナル		年齢	43	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	恐怖	初期侵食率	42 %
出自	疎まれた子	経験	死と再生	邂逅	恩人：テンペスト隊員

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	0	0			4
感覚	2	0	0			2
精神	2	1	0			3
社会	0	0	1			1

HP	61
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転：四輪車	2		芸術：			知識：			情報：裏社会	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームブレード	白兵	4r-1	3	9		m中にオートアクションで装備可能　この武器に要る攻撃に対してガードを行うとG値-5でダメージ算出
		0				
バフ	ＲＣ	3r		+10		C-1　D+3（オバウォ）

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：要人への貸し	
コネ：裏社会	
ダーマルプレート	
マールボロ・クリア・ハイブリッド・エイト・ボックス	
スマホ	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
機械化兵／自身	P	N		
小隊の仲間たち	P ○遺志	N 罪悪感		
香川雨音	P ○有為	N気まずい		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ハードワイヤード	7	基+4	常時	至近	自身	自動		
効果：黒犬専用アイテムをLv個取得　GMが許可すればプリプレイで再選択可能								
開放の雷	5	4	Mj	視界	単体	自動		
効果：対象が次に行うMjのC値-1（下限値6）　攻撃力+Lv*2								
オーバーウォッチ	1	4	Su	至近	範囲（選択）	自動		
効果：R中対象が行うMj判定のD+3								
ハイマニューバー	2	4	Mj	武器		対決	Lim	
効果：達成値+Lv*5　ブラックドッグエフェクトで取得した武器を使用しなければ効果を得られない								
マグネットフォース	1	2	At	至近	自身	自動		
効果：DR直前に使用　カバーリングを行う								
リペアウーンズ	2	5	Cu	至近	単体	自動		
効果：ブラックドッグのキャラにのみ対応　象のHPをLv+1D10+肉体点回復								
セキュリティカット	★		Mj	至近	※	自動		
効果：セキュリティやロックを解除								
小さき密偵	★	1	Mj			自動		
効果：体内に格納した小型ドローンで周囲を探索　小さな隙間や空、水中を調査したり、目立たず偵察することができる								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「ようこそ、奉日本探偵事務所へ……あ？"アトラクタ"を探してるだ？いいぜ、入りな。」
「やりてぇことがあるならあんたの好きなようにやってみりゃいいさ。…ただまぁ、気に食わねえことは止めてやるし、分からねえことがあったら聞きな。」
「"義をもって事を成せ"ってのが信条なんだ。俺はもうでくの坊じゃあねぇ。」

一人称・俺　二人称・あんた　三人称・苗字呼び捨て（依頼主にはさん付け※丁寧になるわけではない）

ハードボイルドで強面、少々ぶっきらぼうな男性。
近寄りがたい雰囲気を醸し出しているが、根は情に厚い。
普段は感情を押し殺す形で振る舞っている。

元テンペスト隊員。退役した現在は街の片隅で小さな探偵事務所を営み、私立探偵という形で生計を立てている。
主に人探しや用心棒、レネゲイド関連の事件解決を生業としている。
レネゲイドがらみの依頼はUGN、FH、ゼノスえとせとら……様々な組織から声をかけられている。
だいたいどこも本質は変わらないだろうという考えのもと、陣営にこだわることなく力を貸しているのだが、
仕事内容へのこだわりは非常に強く、非人道的であったり自身の信条に反するものは断る。
（選り好みするから儲からないのだ）

非オーヴァードでありながら、オーヴァードで構成されたテンペストに所属して隊員たちのサポートを行っていたところ、
隊員の過半数が死亡するジャーム暴走事件に巻き込まれて覚醒を果たす。
自身もまた犠牲者のひとりであったのだが、レネゲイド感染による蘇生の機会があるとしてとある医者から鋼の肉体を授かって蘇生した。

銀色の稲妻を操り、他者の身体能力を引き上げさせる。